

春光懇話会会報  
*Wave21*

2025.5

No. 192

特集 わが社、実は〇〇です！



[www.shunko.jp](http://www.shunko.jp)

# トップインタビュー



春光会22社の社長にご登場いただき、ご自身のプロフィールを語っていただきます。生い立ち、お若い頃の思い出、会社生活のこと等々、いろいろとお伺い致します。  
今回はSOMPOホールディングス 奥村社長にインタビューさせていただきました。よろしくお願い致します。

## SOMPOホールディングス 社長 奥村 幹夫

生年月日 1965(昭和40)年11月23日  
出身地 埼玉県  
最終学歴 筑波大学体育専門学群  
略歴 1989年 安田火災海上保険入社  
2006年 フィンテックグローバル入社  
2016年 SOMPOケア 代表取締役社長  
2019年 SOMPOホールディングス CSO  
常務執行役員 経営企画部長  
2021年 グループCSO(共同) 執行役専務  
2022年 グループCOO 代表執行役社長  
2024年 グループCEO 取締役代表執行役社長  
趣味 スポーツ観戦、ウォーキング

### ——どのようなお子さんだったのでしょうか。

生まれは東京ですけども3歳のときに当時の埼玉県大宮市、現在のさいたま市に移り、そこで育ちました。小学生のころは勉強よりも野球やサッカーに夢中になっていましたね。ある日、野球とサッカーの試合が重なりどちらかを選ぶことになって、サッカーを選びました。それ以来サッカーひと筋になりましたが、この時の選択が私にとって大きな意味を持ちますね。

### ——中学生、高校生でもサッカーを続けたのですね。

中学校に入ったとき、大学でサッカーをやられていた先生が赴任されて、より専門的な技術を教わりました。高校に進むときは、サッカーが強い浦和の高校も考えました。しかし、大宮の高校に筑波大学の大学院を出て赴任された先生がいて、科学的なサッカーを教えているという話を聞き大宮の高校に決めました。中・高とも指導者にはすごく恵まれたと思います。

### ——大学進学と大学生活についてお聞かせください。

高校2年生のときにケガをして、その後ずっとケガを引きずることになります。それでもサッカーを続けて、国体チームにも参加しました。しかし、どうしても日本一を経験したいと思い強豪である筑波大学を選びました。

大学時代もずっとケガで苦しみましたが、一念発起して在学中にブラジルへ留学しました。当時、日本とブラジルの架け橋になる人材づくりを目指す団体があり、毎年20~30人が現地で1年間、自分のテーマ沿った生活をするというものでした。私の場合はサッカーでしたが、現地で日系人の活躍やその方々が地域から篤い信頼を寄せられていることを知り「いつかはブラジルと日本の架け橋になりたい」という気持ちが芽生えました。

### ——就職活動はどのようなものでしたか？

ブラジルとの接点を意識して就職活動を行っていたある日、ブラジルから来日していた方たちの通訳をすることになりました。依頼者に「難しい言葉は分からないですよ」と言ったところ「大丈夫」と言われて受けることにしたのです。そしてブラジルの方たちと一緒に日本の企業を訪問しました。そのひとつが安田火災で、対応いただいた安田火災の方は大学の先輩でした。その方から「将来どんな仕事がしたいの」と聞かれ「いつかブラジルに行って、日本との架け橋になりたいです」と答えたところ、安田火災のブラジルにおける事業の歴史についてのお話をいただき、安田火災グループ初の海外進出はブラジルだったということを知りました。しかも日系人の方とのジョイントベンチャーであったとのこと。「それはすごいですね、ぜひこういうところで働いてみたい」と言ったら、「そうか」となって、損保ジャパンの前身である安田火災に入社することになりました。

### ——入社後についてお聞かせください。

私は1989年入社です。当時は3~4年での異動が通例で、ちょうど4年目が終わるころ支店長に呼ばれて「今後何がしたい」と聞かれたので「前から何度も申し上げているとおり、ブラジルに行きたいです」と即答しました。すると「うちは国内の営業が強い会社だ、本当に海外でいいのか」と諭されましたが「ブラジルで日本との架け橋になりたいのです」と自分の意志を伝えました。最後は「わかった。だったら行かせてやる」ということで、5年目から駐在員としてブラジルに赴任しました。いまでも支店長のおかげだと感謝しています。

### ——その後、さまざまな経験をされたとうかがいました。

帰国後は本店で営業を務めました。その年が、保険自由化の元年でした。ラッキーだったことは、





サッカー留学していたチームのOB戦に参加



サッカー留学時代

すでにブラジルでは保険が完全自由化されていたことです。私はブラジルで自由化された保険を日常的に扱っており、そこで学んだ経験とノウハウをすぐに活かすことができたのです。それから4年後の2000年12月に米国社長のスタッフとして、ニューヨークへ赴任しました。当時は業績が苦しく、ビジネス再生のための選択と集中に取り組んでいました。最終的なプランをまとめて「これで行こう！」となり、それを持って米国の社長がシカゴに飛ぶことになりました。現地には投資家対策のため、本社の社長が来ていたのです。翌日のプレゼンの打ち合わせをしていたのが2001年9月10日の夜。翌朝、米国の社長はシカゴへ向かい、私はプレゼンの成功を祈りつつ午前8時過ぎに会社へ。その数十分後に9.11に直面しました。作成したプランはすべて御破算になり、そこからの2年間はテロ後の対応などに奔走する日々でした。

その後本社に戻り経営企画部に配属となりました。そこでIRや経営計画を手がける予定でしたが、当時の会社は国内に大きく舵を切ろうとしていました。戻ってきたら「えっ、海外展開はないのですか」という感じで、私は会社を辞める決断をしました。転職先は自分が昔から知っているメンバーが立ち上げた新興の上場企業でした。

しかし、その3年後には損保ジャパンに戻ることにになります。当時、リーマンショックの影響でマーケットが混沌とする中、損保ジャパンは再度、海外展開を行うことを決定し、その最初のミッションがブラジル企業の買収だったのです。しかし、買収後のPMIをやる人材がいらないということで声をかけていただきました。私はかなり悩んだ末に帰ることを決めました。ちょうどそのとき、損保ジャパンと日本興亜損保との経営統合の話があり、復帰後すぐにその対応を行い、8月にブラジルに行き、買収した企業のPMIに取り組みました。思えばブラジルとは縁が切れないというか、常に大事な局面で関係してきますね。

ブラジルから戻った後はホールディングスの経営企画部の役員になりました。それから9か月ぐらいたったとき、当時、ホールディングスの副社長だった西澤さんが進めていた介護事業を任されました。

理由は西澤さんが損保ジャパンの社長になるので、介護事業を引き継ぐ者が必要だったからです。

#### ——奥村さんにとってのターニングポイントとは？

よくタフアサイメントなどと言いますが、9.11やリーマンショックなどを経験したことで、「たとえ何があっても何とかできる」という意識があります。あとは偶然ですが、いろいろな機会に珍しい経験をする事が多く、たとえばブラジルには二十歳そこそこで行かせていただいて、2回目もブラジルの地元企業に一人で行くとか、介護事業に関わったときは最初のオーナーで行くとか、何らかのめぐり合わせでいろいろな経験ができました。

#### ——オフはどのように過ごしていらっしゃいますか？

いまでもサッカーには関心がありますし、ライフワークとしてサッカー、ブラジルとの接点を大事にしています。自分がやるよりも選手たちを支えたり、組織運営をサポートしたりといったことに取り組んでいます。あとは、早朝にウォーキングをしたり散歩したり。土日はスケジュールが空いていればゴルフをします。これはカートに乗らず歩いて、というぐらいですかね。

#### ——若い人たちに伝えたいことをお願いいたします。

いまの人たちが次の社会をつくっていくときに、私がアドバイスできるとすると「一歩前に足を出そう」ということです。「そのときできることを最大限やればいい。できるなら一歩前に」ということをいつも言っています。

今後人口が減り働く人が減ってきたときに、テクノロジーの活用が重要になります。新しいテクノロジーへの親和性は、若い人たちのほうが優れています。その素晴らしい能力を活かして一歩前に出たらいいい。私たちはそれを支えていくことになっていくのだと思っています。

# 特集 わが社、実は〇〇です!

春光懇話会会員会社各社が、普段はなかなか知ることのない、意外な会社一面や秘話を大公開!「実は〇〇なんです!」をテーマに、各社の個性あふれる記事をお届けします。ぜひ、あなたの知らない各社の魅力を発見してください!

## ENEOS Xplora

### わが社、実はマスコットキャラクターを誕生させました!



当社は、環境対応型事業をより一層加速する方向性を明確にするため、2025年1月1日付で石油開発事業のみを想起させる「JX石油開発」から、事業領域の広がりを感じさせる「ENEOS Xplora」へ社名を変更いたしました。新社名に含まれる「X」には、これまで当社が全力で取り組んできた事業であり、当社の誇りでもある「Exploration」(資源の探求)という意味に加え、「無限」、「未来」、「革新」、「未知なるものへの挑戦」といった当社の追い求めるもの、そしてそれに向けた当社の決意が込められています。エネルギーの安全・安定供給は今後も当社の変わらぬ使命ですが、カーボンニュートラルの潮流の中でより大きな社会的価値を創造していくため、企業理念である“Explore the EARTH and Create Value”のもと、当社は、地下技術と革新的な創造力で、サステナブルな社会の実現をリードするキープレーヤーを目指して、果敢に挑戦を続けて参ります。

そして、今回の社名変更を機に、当社は、マスコットキャラクター“ENOX(エノックス)”を誕生させました。“ENOX”は、社内公募で国内外の役員・従業員とその家族から100以上集まった候補の中から全社投票により選ばれたマスコットキャラクターです。キツネをモチーフにした“ENOX”は、その可愛らしいフォルムやつぶらな瞳、大きなしっぽなど、当社のこだわりがたくさん詰まっています。

“ENOX”は、ENEOS Xploraの新たな仲間として、明るい未来を創るため、ヘッドライトを駆使しながら、世界中を探検し続け、企業理念である“Explore the EARTH and Create Value”を実践しています。また、“ENOX”は、その大きな耳を活かし、世界中の皆さんの声を聞き逃すことなく、学び、そして新たな価値を発信していきます。

当社オフィシャルサイトには、“ENOX”についてもっと知っていただくための紹介サイトを開設しておりますので、ぜひご覧ください。“ENOX”は、探検の途中でいつの日かどこかで皆さんとお会いできることを楽しみにしています。今後とも“ENEOS Xplora”ならびに“ENOX”をよろしく願いたします!



キャラクターの特設サイト

# UDトラックス

## わが社、実は90歳なんです！

1935年に創業したUDトラックスは、今年で90周年を迎えます。この90年間、「時世が求めるトラックとサービスを提供する」という使命のもと商用車を製造してきました。

UD90周年キービジュアル▶  
現在の製品クオン、クエスターの後に過去の主力製品が続いています。



創業者の安達堅造は、欧州視察で燃費が良く力強いディーゼルエンジンに注目し、「自らの力でディーゼルトラックをつくり世の中に貢献したい」との思いで会社を設立しました。1939年には第1号車を使って、前例のない3,000キロの野外走行試験を実施。様々な条件下で走行可能なことを確認し、自社製品の堅牢さを証明しました。

◀創業者の安達堅造

販売用の自動車の製造が禁止された戦時期を経て戦後にトラックの生産が許可されると、各メーカーが新型エンジンの開発を競いました。1955年、当社は社名の由来ともなった「UDエンジン」を発表。当時「世界で最も1馬力あたりの重量が軽いエンジン」として高く評価されました。1958年には日本初の10トン超の大型トラックを発売し、高度経済成長下の道路や鉄道など大規模なインフラ整備に貢献しました。

日本の経済が成熟すると、環境問題やグローバル化への対応が求められるようになります。2004年に誕生した当社の主力製品・大型トラック「Quon（クオン）」には、トラックとしては世界初の、排出ガス浄化装置（尿素SCRシステム）を採用しました。2013年には新興国向けトラック「Quester（クエスター）」を発売、堅牢でありながら柔軟なカスタマイズができる大型車を送り出しました。

この節目の年に、UDトラックスは90周年のキャンペーンを実施しています。90周年のロゴをあしらった特別キャンペーン車が国内各地を巡回するほか、オンラインでは、世界各地で制作されたショート動画

「Master of the Truck：究極のトラックを追い求めて」を順次公開します。過酷な環境下でUDのトラックが日々直面する数々のチャレンジと、ドライバーがそのチャレンジをクリアしていく姿を描いたものです。ぜひUDトラックスの公式YouTubeチャンネルをご覧ください。

URL： <https://www.youtube.com/watch?v=IJUMTx7YKX4>



▲UD90周年キャンペーン巡回車

このキャンペーンを通じてUDトラックスの飽くなきチャレンジ精神を広く知っていただければ幸いです。



## GOOD FOODSを見つけると大喜び！ 新企業キャラクター「グッフィー」

2023年、新しい“食”を創造するニッスイの活動「GOOD FOODS for YOU！」（「人々により良い食をお届けしたい」という当社の志を表現した言葉）」を推進する、アンバサダーに就任した「グッフィー」を紹介します。企業CMやニッスイのWEBサイトにも登場しているので、もしかしたら見たことがある方もいらっしゃるかもしれません。



グッフィーは生活者のみなさんとニッスイをつなぐキャラクターで、名前は「GOOD FOODS」という言葉から名づけられました。頭に乗っているニッスイのブランドシンボルをモチーフにした「なにか」（※帽子ではありません。正体は謎に包まれています）や、親しみやすいボディカラーが特長で、ニッスイのオリジナル要素が詰まっています。ボディの形状はGOOD FOODSの「G」の文字をモチーフにしています。

性格は、「GOOD FOODS」を見つけると、うれしさを隠しきれず、思わず「グッフィー！」と声を上げてしまう、感情豊かで元気いっぱいなキャラクターです。毎日せっせと世界中のGOOD FOODSを探し歩き、いろいろな人に広めている姿は、まさに“GOOD FOODSの伝道師”。真っすぐで一生懸命な性格ゆえに、時には食べすぎたり、テンションが上がりすぎてまわりを巻き込んでしまうこともありますが、本人はいたって本気。GOOD FOODSを広めるために、ひたむきにがんばっています。

企業CMでは、度々出演者の食事シーンに登場。食事の様子を嬉しそうに見守っていますが、実は裏ではつまみ食いばかりしていたなんて噂もあります。

GOOD FOODS for YOU!活動の旗振り役を務めるグッフィーの今後の活躍にご注目ください！



「GOOD FOODS」を伝えたくて  
ついにニッスイの受付を担当しはじめたグッフィー



誰にも頼まれていないのに  
自作の旗を持って企業CMに  
登場したグッフィー

## わが社、実は日本自転車競技界の 発展に貢献しています！

NIPPOでは、自転車のレーシングチームのサポートを始めて38年を迎えました。

日本舗道レーシングチームとして、1988年のソウル五輪代表となる円谷義広選手とともに1987年に創立。その後、時代やニーズに合わせてチームの形態を変えながら、トップチームへのサポートを続けています。

ツール・ド・北海道での総合優勝13回のほか宇都宮ジャパンカップ、全日本選手権ロードレースなど国内外のレースでも数えきれない勝ち星を挙げています。また、NIPPOはツール・ド・北海道では、1987年の第一回大会からスポンサーとして大きく関わり、日本の競技環境発展の一翼を担っています。

2025年シーズンは、欧州を中心に活躍するベルギー籍ワールドチームのスポンサーとして、アンテルマルシェ・ワンティとスポンサーシップを締結、同チームの共同タイトルスポンサーとなり、チーム「ワンティ・NIPPO・リユーズ」は、パリ五輪トラック競技日本代表の今村駿介選手を始め、日本人の若手選手が本場の環境で活動を続けています。



2024ツアー・オブ・ジャパン大会（東京ステージ）



2024宇都宮ジャパンカップ大会  
ニールソン・パウレン選手が優勝、  
ルーカス・ネルウカー選手が新人賞を獲得



観戦・応援に駆けつけました（東京ステージ）



## わが社、実はランナーが多いのです！

日立建機は、油圧ショベル、ホイールローダ、道路機械、鉱山機械などの開発・製造・販売・サービスの事業をグローバルで展開している建設機械メーカーです。新車販売事業に加えて、部品・サービス、再生（部品・本体）、レンタル、中古車の「バリューチェーン事業」を拡大し、革新的なソリューションをお客さまに提供する真のソリューションプロバイダーとして、お客さまと共に成長をめざしています。24年にはこの想いの実現を全てのステークホルダーにお約束する証としてニューコンセプト「LANDCROS」（ランドクロス）を制定し、現在、普及・浸透に取り組んでいます。

そのようなわが社ですが、実は社員の中にランナーが多いのです。当社のマザー工場である土浦工場ではお昼休みに工場周辺を走ってリフレッシュする社員の姿が見受けられます。また、日立建機は地元企業として地域に貢献するため、茨城県の土浦市、かすみがうら市で開催される「かすみがうらマラソン兼国際ブラインドマラソン」大会に2006年から特別協賛を続けています。



日立建機は毎年、会社全体で同大会の運営に協力しており、2025年開催時には307名の社員がボランティアとして参加しました。当日は、フルマラソンの部の土浦工場前・10マイルの部の11km地点での給水エイド・仮設トイレの設置や日立建機オリジナルの応援グッズの作成、ブラインドランナーのガイドヘルパーなどを通じて大会をサポートしました。特にガイドヘルパーはブラインドマラソンが開催されるようになった1995年から、人の役に立ちたいという思いの社員が長年務めており、駅からホテルへの案内や会場内の移動をお手伝いしています。また執行役社長の先崎正文がランナーの皆様にご挨拶させていただくとともに、社長自身もランナーとして大会に参加されました。

日立建機は、今後も地域の活性化に貢献していきます。

日立建機は、今後も地域の活性化に貢献していきます。



日立建機 土浦工場敷地に設置した横断幕



日立建機オリジナルの応援グッズ（ゼッケン）

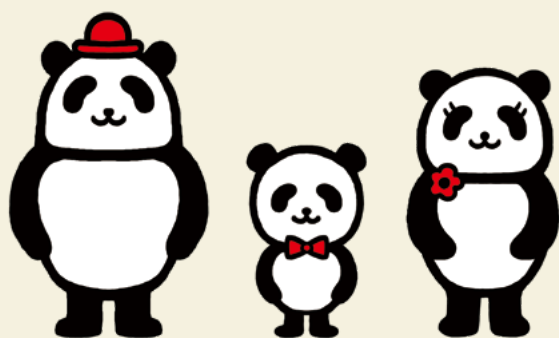


## 実は315種類いるんです！当社のキャラクター 愛らしいパンダ「ジャパンダ」があなたを笑顔に！

「ジャパンダ」って知っていますか？

当社のキャラクターですが、実は、その種類はなんと315種類いるんです！（2025年5月9日時点）愛らしいパンダの姿をしたジャパンダは、街や大切な瞬間に寄り添い、安心・安全・健康を願い、いつもあなたの側にいます。「会いに来てくれる、会いに行ける」身近な存在であるジャパンダは、みんなに愛されています。個性豊かなジャパンダたちの中には、地域住民が主体となって制作された「ご当地ジャパンダ」もあります。例えば、秋田県の「なまはげジャパンダ」は、秋田県で行われる年中行事やその行事に出演する神の使いを表現したデザインで、地域の魅力を独自の視点で表現しています。それぞれのジャパンダには個性的な性格も。まじめだけどちょっとお調子者のジャパンダは、誰とでもすぐに仲良くなれます。笹のハンバーグが大好きなのは、ジャパンダママお手製の味だから。優しいパパは、メタボ体型を気にしながらも、みんなを安心させてくれる頼りになる存在です。帽子集めが趣味だとか。家族思いのママは、みんなの健康をいつも気にかけていて、「もしものことがあったら…」と心配性。料理とヨガが趣味です。

ジャパンダは、これからも地域の魅力を発信し、笑顔と感動を届けていきます。当社の公式ウェブサイトなどで見ることができますのでぜひ、あなたもジャパンダに会いに来てください！



ジャパンダと仲間たち  
(ジャパンダパパ・ジャパンダママ)



ご当地ジャパンダー一覧

# わが社、実は大阪・関西万博の「未来の都市」で KDDIと共同展示を出展します！

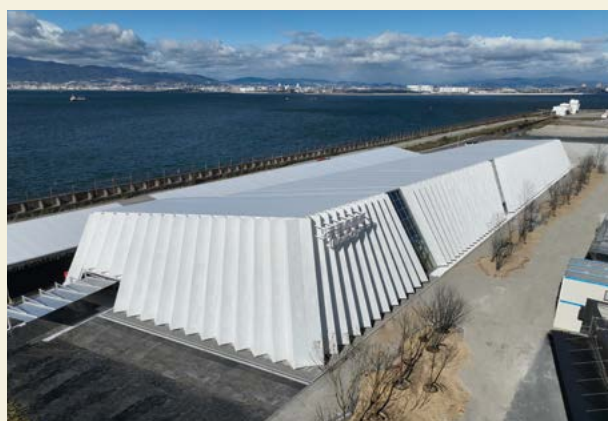
4月13日に開幕した大阪・関西万博。日立は、未来社会ショーケース事業「フューチャーライフ万博・未来の都市」のプラチナパートナーとして参加し、「Society 5.0と未来の都市」をテーマに、KDDIとの共同展示「Mirai Meeting」を出展しています。

本展示では、「未来は自分たちで変えられる」をコンセプトに、来場者が未来の課題に対する解決策を自ら選択し、都市の変化をシミュレーションで体験できます。展示は「Mirai Theater」と「Mirai Arcade」の2つの部分で構成されています。

「Mirai Theater」は、高さ6m、幅15mの大型スクリーンを有するシアター形式の体験型展示です。最大120人が同時に入場できる施設で、スマートデバイスを使用して未来の都市づくりに参加できるインタラクティブな体験ができます。2035年の未来を舞台に、来場者は未来の子どもから「食と健康」、「労働と学習」といった身近なテーマのSOSを受け取る設定のもと、自らの選択を通して解決策を導き、未来の都市がどのように変わるのかを体験いただけます。

「Mirai Arcade」は、65インチの大型タッチパネル3枚を用いたゲームコーナー仕立ての体験型展示です。画面に表示される現代の社会課題に対して、ソリューションを「ミライボール」としてその課題に当てることで、解決へと導く体験ができます。子どもが体を動かしながら楽しく参加できるゲームコンテンツとなっています。

日立・KDDIは、社会インフラやプラットフォームの提供企業として培ってきたノウハウとテクノロジーを活かし、共同展示を通じて、人間中心の社会であるSociety 5.0の実現をめざします。



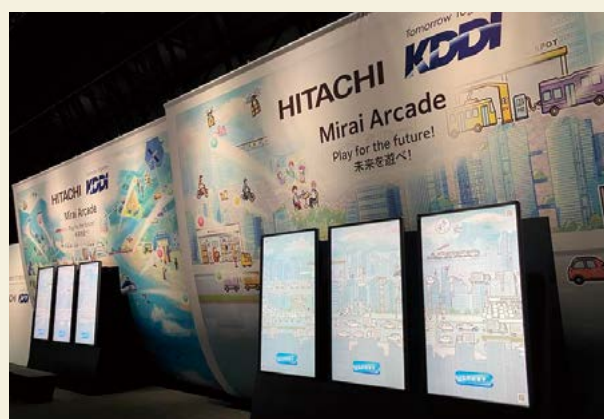
「未来の都市」パビリオン外観



日立・KDDI共同展示（イメージ）



「Mirai Theater」



「Mirai Arcade」



# 情報アラカルト

## キャピタル損害保険

### 創立30周年記念取組みでがん制圧支援

キャピタル損害保険（取締役社長 坂口智也/以下「当社」）は、2024年12月6日、公益社団法人日本対がん協会（会長 垣添忠生さま/以下「日本対がん協会」）に対し200万円の寄付を行いました。2025年1月14日に当社で贈呈式が行われ、日本対がん協会の常務理事 石田一郎さまより感謝状が授与されました。

当社は2024年6月に創立30周年を迎えることができました。今回、その記念として、がんと闘いながら働く従業員を応援する企業のための「がん治療と仕事の両立支援保険」をお客さまに提供する企業として、「がんで苦しむ人や悲しむ人をなくしたい」との目標を持ち、様々な活動に取り組んでいる日本対がん協会に寄付をすることとしました。

日本対がん協会は、がん制圧を目標に、がん予防・がん検診の推進、がん患者・家族の支援、正しい知識の普及啓発活動に取り組んでおり、また、治療と就労の両立、がん経験者の生活の質の向上などの課題に対応されていることに当社も共感しました。

寄付金はがん制圧のために役立てられます。当社としても、がんで苦しみ、悲しむ人をなくすという目標に共に貢献するとともに、お客さまに「変わらない安心」を届ける企業として、役職員全員の社会貢献への参画意識をこれからも育んで参ります。



日本対がん協会 石田常務理事（右）  
当社取締役社長 坂口（左）

お客さまに「変わらない安心」を  
お届けする企業として



公益財団法人 日本対がん協会へ寄付金を贈呈しました

問合先 経営企画部 ☎03 (5276) 1391 <https://www.capital-sonpo.co.jp/>

## 新 会 員 会 社 紹 介

### 株式会社 日立インダストリアルプロダクツ（日立製作所グループ）

当社は、日立グループの大型産業機器事業を担う会社として2019年4月にスタートしました。

1910年に創業した日立の創業製品は電動機です。

私たちは、創業以来の事業を継承し、モノづくりの強化とたゆまぬ技術革新を強みに、高度化するインダストリー分野の課題解決につながるキープロダクトとリカーリングサービスをグローバルに提供しています。

私たちのパーパスである「モノづくりの力で、ステキな未来をつくる」に込めた思いで、みなさまの期待に応えるプロダクトとサービスを通して、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

代 表 者：取締役社長 奥 慎太郎

資 本 金：100億円

本 社：〒101-0021

東京都千代田区外神田

一丁目5番1号

（住友不動産秋葉原

ファーストビル）

☎03(6271)7100(代表)

<https://www.hitachi-ip.co.jp/>

業務内容 電機システム事業と機械システム事業における製品の開発、生産、販売、サービス



取締役社長  
奥 慎太郎

# 新製品・新商品 紹介

## ニッセイコム

### 給与計算システム「GrowOne 給与SX」の貸付金管理オプションをリリース

ニッセイコムは、2025年2月1日に給与計算システム「GrowOne 給与SX」の貸付金管理オプションをリリースしました。

このオプションを利用することで、元利均等貸付の管理が可能になり、利率（月利／年利）に応じた計算ができます。貸付金額や月々の返済額に基づいて返済計画を自動で作成し、給与や賞与から自動控除により返済できます。

#### ■貸付金管理オプションのリリース背景・目的

従業員貸付制度は、社内貸付制度とも呼ばれており、福利厚生の一環として導入されています。

さらに、働き方の多様性に対応し、労働力を確保のために、この制度を採用活動のアピールポイントとする企業もあります。そのような企業を支援するためにリリースしました。

#### ■貸付金管理オプションの概要

貸付金の返済額や利息額、利率計算を行い、給与や賞与からの控除（天引き）による徴収が可能です。

##### 【詳細機能】

- ・返済計画に基づき、月々の給与や賞与から返済額および利息額を徴収できます。
- ・元利均等貸付を行い利率（月利・年利）に基づいた利率計算が可能です。
- ・貸付金額や月々の返済額に基づく返済計画を自動で作成し、給与や賞与で返済ができます。
- ・返済計画や貸付金の返済状況を帳票として出力できます。

#### ■給与計算システム「GrowOne 給与SX」の詳細はこちら

<https://www.nisseicom.co.jp/growone-sx/>

**GrowOne 給与SX**



問合先 カスタマーサポートセンター Email : nc@nisseicom.co.jp

## 事務局異動のお知らせ

本年度4月1日に事務局に着任を致しました吉田智彦と申します。この度、着任に際しまして前任の横井さんより在任9年間の引継ぎを完了致しました。引継ぎを受け、春光懇話会の歴史の重さと今後の責任の重大さに身が引き締まる思いです。

今後はひとつひとつ地道に業務対応を行い、少しでも早く前任者の知識レベル・業務レベルに到達できる様に取り組んで参ります。

春光懇話会のさらなる発展への注力と、特に営業部会を中心とした事務局業務に邁進して参りますので、春光懇話会事務局としての取り組みに関するご協力をお願いと併せまして、皆さまからのご指導、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



事務局次長 吉田 智彦



## スマートフォンでちょっとミライなビルの暮らしを提供する 中小規模ビル向けのソリューションサービス「BuilMirai」のご紹介

近年、人件費高騰や人手不足などの社会課題を背景に、ビル管理の効率化などのニーズが大きく高まっています。大規模ビルでは専用のシステム構築により対応が進む一方で、中小規模ビルにおいてはコスト面や導入手法などの課題がありGX/DXが進みにくい状況でした。

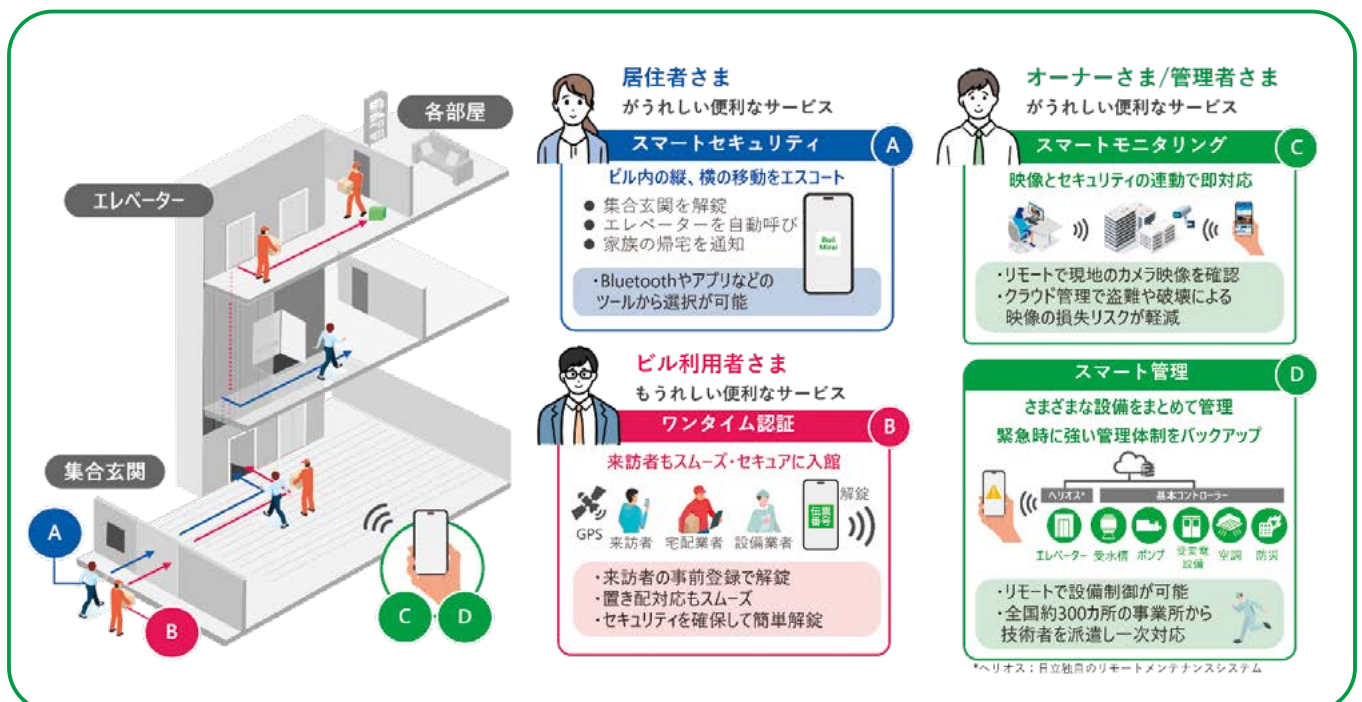
そこで弊社は大規模ビル向けIoTソリューションで培ったノウハウを生かし、新たに中小規模ビル向けソリューションサービスをコンパクトにパッケージ化した「BuilMirai」を開発しました。

### 中小規模ビル向けのソリューションサービス「BuilMirai」の特徴

- 1. スマートフォン対応で高い利便性を実現**  
全てのサービスがスマートフォンに対応しており、時間や場所を選ばず利用できます。
- 2. サブスクリプションモデルで必要なメニューだけを利用でき、投資負担を軽減**  
必要なメニューを選択するサブスクリプション形態とすることで、費用負担を軽減します。
- 3. マンションのセキュリティと快適性を向上**  
それぞれのメニューを組み合わせることができ、マンションの住民以外の利用者の利便性も向上させることができます。

このような新しい「BuilMirai」のサービスはマンションだけに留まらず、さまざまな用途の建物でビルのちょっとミライなスマート化の実現をお手伝いします。

## BuilMiraiの便利なサービス



ニュースリリース

商品の詳しい内容につきましては、日立ビルシステムまでお問い合わせください。  
お問い合わせ先 ☎ 0120-7838-99(カスタマーサポートセンター)

## 第25回 キャンペーン結果報告

### (1) 目的

- ①ビジネス交流のさらなる活性化
- ②春光懇話会知名度の定着化
- ③春光懇話会活動への参画推進

2024年10～12月

第25回 春光懇話会

ビジネス交流強化  
キャンペーン

### (2) 結果 ▼展開内容

項目	第25回キャンペーン
期間	2024年10月～12月
ポスター	539枚
パンフレット	9,036部
クイズ抽選賞品	299本
パンフレット掲載会社	13社

### ▼クイズ応募実績

第25回:20,754件

24回:18,450件、23回:17,910件、22回:19,161件、21回:19,522件、  
 20回:24,118件、19回:24,902件、18回:26,048件、17回:28,447件、  
 16回:26,939件、15回:23,086件、14回:19,135件、13回:18,637件、  
 12回:17,506件、11回:13,965件、10回:13,015件、9回:11,211件、  
 8回:6,986件、7回:7,033件、6回:5,653件

### (3) キャンペーンの状況と今後の課題

- ①キャンペーンスタートにあたり、9月18日に合同展示会を実施しました。  
 展示会には18社が自社商品を出品し、149名の来場客を迎えました。  
 展示会はビジネス交流の場として機能し、その場で商談につながる動きも見られました。  
 合同展示会後のキャンペーン決起大会でも、ビジネス交流を積極的に行い、キャンペーン成功に向けて取り組むことを120名の参加者全員で確認しました。
- ②キャンペーン活動がきっかけとなり、年間を通してビジネス拡大を図るために立ち上げた『ビジネス協業会』の活動も活発になり、多くの成果につながっています。  
 今後も会員増強を図り、協業会の活性化に取り組んでいきます。
- ③春光クイズ応募件数は第25回キャンペーンでは久しぶりに2万件を超えました。多くのご応募をいただき感謝申し上げます。引き続き、ご応募いただきますようお願いいたします。

## 合同展示会



## キャンペーン決起大会







そろそろ結婚をとお考えのみなさま  
結婚適齢期のご家族をお持ちのみなさまへ



## 春光懇話会ファミリークラブ

### 春光グループのみなさまの“結婚相談所”です

- 入会手続きは簡単です。まずは資料請求を!!
- 春光懇話会ホームページにアクセスしてみてください。



### 安心できる出会いを提供します。

#### 安心その1

運営は、春光会とそのグループ会社で構成する春光懇話会です。

#### 安心その2

会員を春光グループに関わる方に限定しています。

#### 安心その3

春光グループ各社からの維持会費で運営していますので、会員個人の負担は、入会時の1万円と成約時の7万円です。

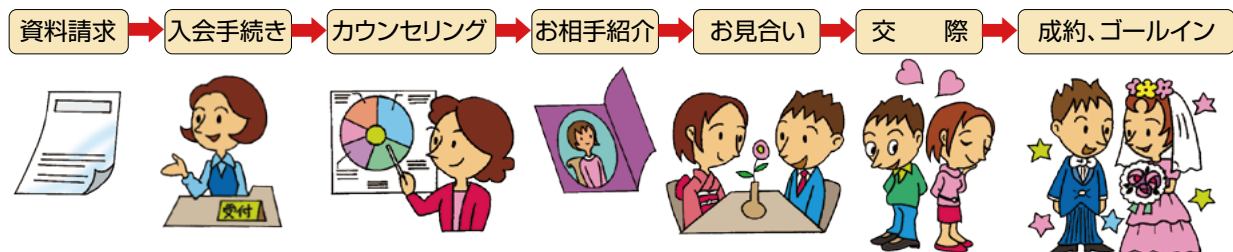
#### 安心その4

資金面などで各社との関係は密接ですが、会員個人のプライバシーは絶対厳守です。当然、会社にお知らせすることは一切ありません。

#### 安心その5

入会から、お相手の紹介、お引合わせ（お見合い）、交際、結婚のご意志確認まで、女性カウンセラーが、会員の意思を尊重しながら、親身になってお手伝いします。

#### ●入会から成約までのステップ



#### 営業日の変更のお知らせ

2023年4月から春光懇話会ファミリークラブの営業日が以下の通り変更となります。

会員のみなさまには、何卒ご理解の程、よろしくお願い申し上げます。

**営業日時：**火曜日・水曜日を除く平日および土・日曜日  
(午前10時～午後5時)

**休 日：**火曜日・水曜日と土・日曜日以外の祝日  
(毎週火曜日に加え、毎週水曜日も休日に変更となります)

### 春光懇話会ファミリークラブ

〒160-8330 新宿区西新宿2-2-1

京王プラザホテル南館9階

TEL&FAX 03(3344)0410

[www.shunko.jp/family/family.html](http://www.shunko.jp/family/family.html)

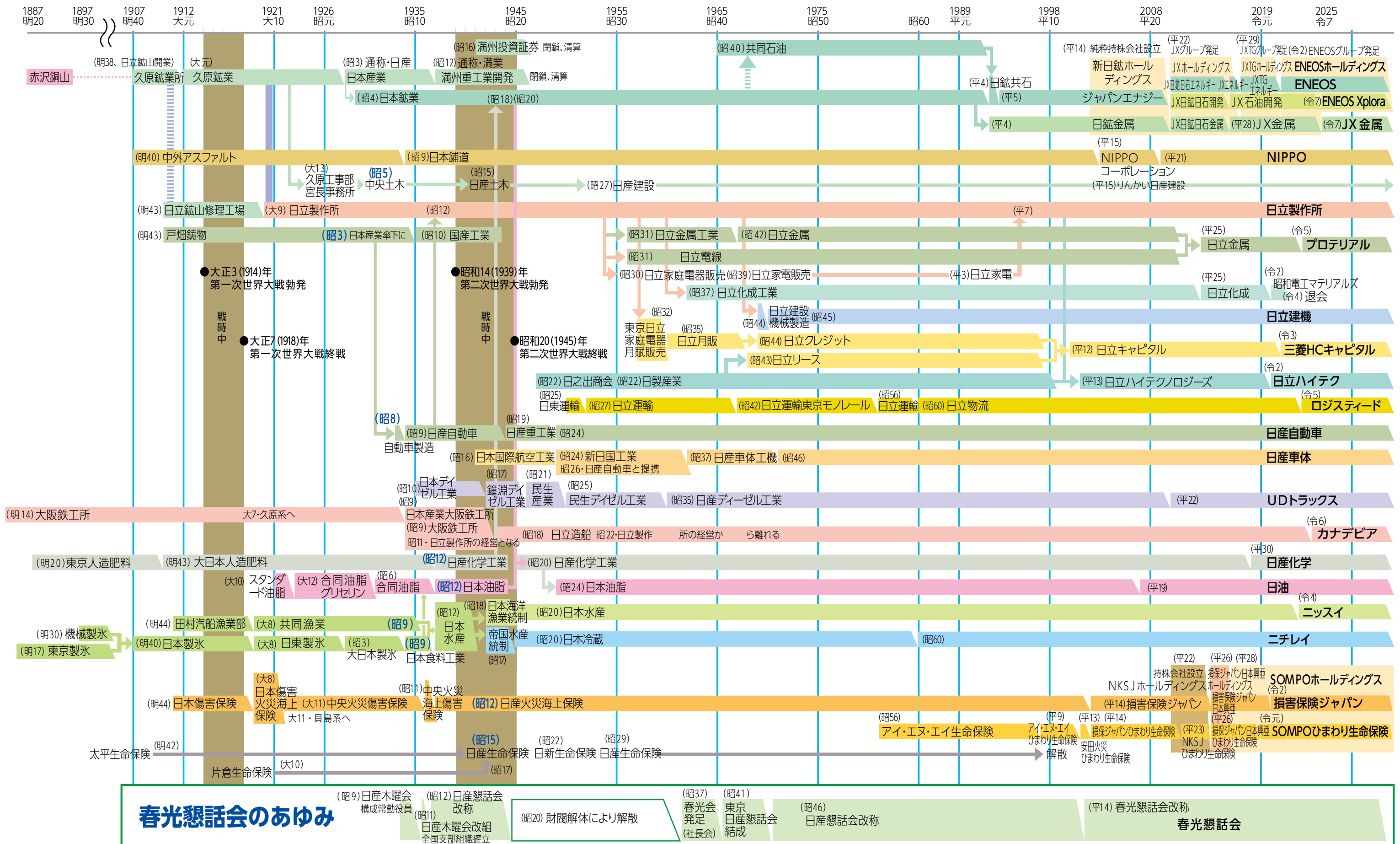
●春光懇話会ファミリークラブは、春光会22社とそのグループ会社89社が支えています。

#### スタートはいつも出会いから!



# 春光グループ主要会社の系譜略図

※青字は日本産業(日産コンツェルン)傘下に入った時点を示します。





●春光会 ○入会



**徳永 俊昭**  
日立製作所 社長  
1990年 日立製作所 入社  
2025年 代表執行役 執行役社長兼CEO  
**好きな言葉** Lead the self, lead the people, lead the society

**最近感動したこと** 新入社員との会話で、社会のために頑張りたいという思いをクリアに抱いていることを実感、エネルギーをもらいました。

茨城県出身 58歳



**忍田 泰彦**  
ENEOS Xplora 社長  
1993年 エッソ石油(現 ENEOS) 入社  
2025年 ENEOS Xplora  
代表取締役社長 社長執行役員

**好きな言葉** Risky to change. Riskier not to change. (変えるにはリスクを伴う。変えなければより大きなリスクが伴う。)

**最近感動したこと** 日本の若手がスケボーやスノボといった新競技で大活躍！その姿に日本のクールさを感じます。

千葉県出身 56歳



**伊藤 公一**  
UDトラックス 社長  
1990年 いすゞ自動車 入社  
2025年 UDトラックス  
代表取締役社長 兼CEO

**好きな言葉** 明るく、仲良く、元気よく

**最近感動したこと** 45年ぶりにラジコンを再開しました。最近のキットの進化度合いに感動しました。

愛知県出身 59歳



**高木 由充**  
日立ハイテク 社長  
1989年 日立製作所 入社  
2025年 日立ハイテク  
代表取締役 取締役社長  
**好きな言葉** 憧れるのをやめましょう

**最近感動したこと** 社長就任にあたり、36年前に入社した同期が真っ先にお祝いをしてくれたこと。「持つべきものは良き友」を実感。

静岡県出身 58歳



**久米 康樹**  
SOMPOひまわり生命保険 社長  
1995年 安田火災海上保険  
(現 損害保険ジャパン) 入社  
2025年 SOMPOひまわり生命保険  
代表取締役社長

**好きな言葉** 最善を尽くす。やれることはすべてやる。

**最近感動したこと** 先日、グループの介護事業所で介護の一日体験をしました。ケアスタッフの皆さんの専門性と献身に触れ、深く感動しました。

徳島県出身 53歳

○退会

中原 俊也 (ENEOS Xplora)  
丸山 浩二 (UDトラックス)  
宮崎 正啓 (日立ハイテク)  
大場 康弘 (SOMPOひまわり生命保険)

●事業協議会 ○入会



**坂根 学**  
日産自動車  
ストラテジーアクセラレーション チーフ



**山口 奏子**  
ENEOS Xplora  
執行役員CHRO



**諏訪邊 武史**  
J X金属  
常務執行役員



**川口 義之**  
J X金属  
執行役員



**鳴海 一仁**  
日油  
常務執行役員



**大嶋 幸一郎**  
カナデビア  
専務執行役員



**澤田 誠**  
日立建機  
執行役CHRO



**後藤 浩司**  
三菱HCキャピタル  
常務執行役員



**鈴木 渉**  
日産車体  
専務執行役員



**齊藤 義雄**  
日産車体  
常務執行役員



川北 剛史

ロジスティード  
執行役員（CMO）



小林 伸行

SOMPOひまわり生命保険  
常務執行役員

○退会

田川 丈二（日産自動車）  
高倉 昌孝（ENEOS Xplora）  
小松崎 寛（J X金属）  
小倉 靖（J X金属）  
首藤健志郎（日油）  
安田 俊彦（カナデビア）  
豊島 聖史（日立建機）  
澤田 真（三菱HCキャピタル）  
小滝 晋（日産車体）  
牛込 正明（日産車体）  
名取 一茂（ロジスティード）  
岩切 健一（SOMPOひまわり生命保険）

●代表者交替

○春光会会社

日立製作所	徳永 俊昭←小島 啓二
日産自動車	イヴァン エスピノーサ←内田 誠
ENEOS Xplora	忍田 泰彦←中原 俊也

UDトラックス	伊藤 公一←丸山 浩二
日立ハイテク	高木 由充←飯泉 孝
SOMPOひまわり生命保険	久米 康樹←大場 康弘

○会員会社

日立ドキュメントソリューションズ

槻山 裕之←瀧川龍一郎

ENEOSオーシャン

片岡 尚←廣瀬 隆史

●春光懇話会会員会社

○入会

日立インダストリアルプロダクツ（25.4.1）

○社名変更

Astemo←日立Astemo（25.4.1）

日立産機グリーンテック

←日立産機ドライブ・ソリューションズ（25.4.1）

マクニカ←グローセル（25.4.1）

○本社移転

・日産物流（25.2.10）

〒111-0034 台東区雷門2-17-2 NEWNO浅草6階

☎03(4564)5231

・ENEOSオーシャン（25.2.17）

〒220-0012 横浜市内西区みなとみらい3-6-3

MMパークビル13階

☎045(307)3000

○退会

日立建機ロジテック（25.3.31）

HTB-BCDトラベル（25.3.31）

ENEOSサンエナジー（25.4.30）



## わが社と町並み

## ニチレイフーズ 船橋工場

### 歴史ある工場でありながら、最先端のAI技術も導入した食品工場

千葉県の北西部に位置し、東京湾に面した船橋市に立地しているニチレイフーズ船橋工場。生産量は年間5万トンを超え、ニチレイグループ国内最大級の冷凍食品工場です。

1961年に設立した船橋工場は、日本冷蔵株式会社船橋食品工場として魚肉ハム・ソーセージ、冷凍食品の生産から始まり、1972年からは本格的な冷凍食品工場として焼売、餃子の生産に着手。1988年には第二工場棟の稼働を開始するなど、業容を拡大してきました。

2015年より米飯専用工場として生まれ変わり、現在は「本格炒め炒飯®」などの生産を行っています。近年では、生産ラインでの自動化、省人化を目的として最先端のAI技術を導入し、さらなる発展を遂げています。



AI技術の導入については  
こちらのQRを  
ご参照ください。

船橋工場では、近郊の船橋第二工場と共同で「船橋をきれいにする日」など地域のゴミ拾いイベントや船橋市民祭り「めいど・いん・ふなばし」などにも積極的に参加しています。このお祭りは、船橋市の各企業が製品の展示などを通して市民の方に広く知ってもらうことを目的としたお祭りで、船橋第二工場出荷単位（ケース）に満たない端数の正規商品いわゆる半端品を活用し、食品ロス削減にも貢献しています。

これからも、徹底した品質管理のもと、お客様にご満足いただける安全・安心、美味しい商品を、全国の食卓へお届けしてまいります。



船橋工場入口



お祭りの出展ブース



ご提供商品

ニチレイフーズ 船橋工場 〒273-0015 千葉県船橋市日の出2-19-1 ☎047(431)6121